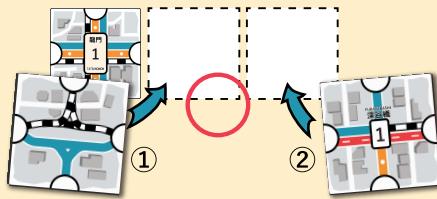
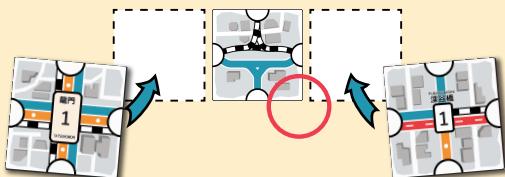


特別なタイルの置き方

駅Aから同じ色の路線で途切れずに繋がれた駅Bまでの間を路線区間と呼びます。ゲームタイルを置くとき、同じ路線区間になるのであれば手札のゲームタイルを一度に3枚まで置くことができます。同じ路線区間とは、色が同じで途中に駅を挟んでいない状態の路線のことです。駅のあるゲームタイルを2枚以上持っているときは、駅が一切ない路線の左右に置くことも可能です。



※駅が挟まるため①と②は逆位置には置けません



② ゲームタイルを手札に加える（キープする）

タイル山札からゲームタイルを手札に加えたとき、手札がまだ2枚以下でそのゲームタイルを置きたくないときは、そのまま手札にキープすることができます。

③ ゲームタイルを捨てる

手札のゲームタイルが3枚になったとき、路線の色が1つもあうことなく、どこにもゲームタイルを置くことができないと判断した場合は、手札にある3枚の中からいざれか好きなものの1枚を捨てます。捨てられたゲームタイルは表にした状態でテーブルの脇によけておきます。このゲームタイルはそのゲーム中、誰も使うことはできません。

- 5 -

点数計算

ゲームタイルを場に置いたとき、以下の条件を満たすと得点が入ります。

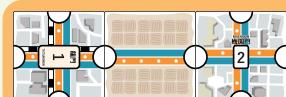
① 同じ色で繋がった路線の両端に駅が配置された状態になると路線区間の完成となり得点が入ります。両端の駅に書かれている数字を合計したものに、路線区間の中にある○の数を掛けたものがその路線区間の点数となります。



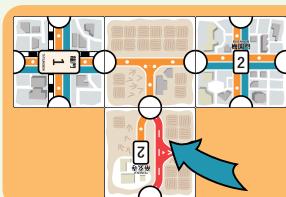
この路線区間は青色の路線が繋がっているので、駅の合計点3点、○の数が3個で $3 \times 3 = 9$ 点になります。

■複数路線区間の同時完成

同時に複数の路線区間を完成させた場合は、通常通りの得点計算を全ての路線区間にに対して行い、全て得点として加算されます。



青色と黄色の路線区間が完成しました。どちらの色も駅の合計点3点、○の数が2個なのでそれぞれ $3 \times 2 = 6$ 点ずつ、合計12点になります。



すでに黄色の路線が完成している路線区間に、さらにゲームタイルを置いたところです。この場合も分岐先の2つの駅に接続される形になるため、同時に黄色の路線区間が2つ完成したことになり、それぞれの路線区間ににおいて得点が加算されます。

② ランドマークが描かれたゲームタイルを置いた場合、その瞬間にそのランドマークの星の数がそのまま得点として加算されます。



④ 独占開発を宣言する



もし自分の手番が回ってきたとき、「独占開発キューブ」が誰にも使われず、場にあった場合はタイル山札から1枚ゲームタイルを引いて手札に加えたあと、「独占開発を行う」ことを宣言して使うことができます。

※手札が3枚になり、どこにもそれらのゲームタイルを置けない状態になっている場合は独占開発の宣言はできず、「③ ゲームタイルを捨てる」を行うことになります。

独占開発は以下のようにして行います。

① 現在場に並べられているゲームタイルの中からどこか未完成の1路線を選び、独占開発を宣言し、「独占開発キューブ」をその路線に置きます。



この赤の路線の独占開発をします！

② 一度独占開発を宣言したら、それ以降は、その路線区間が完成するまで必ずその路線にゲームタイルを置き続けます。

他の場所にゲームタイルを置くことはできません。

※他のプレイヤーは、「独占開発キューブ」が置かれている間はその路線に繋がるゲームタイルを置くことができなくなります。

また、宣言された路線とは違う色の路線であっても、同じ場所を通過する路線の場合は置くことができません。

③ その路線区間が完成した場合は独占開発は終了となります。「独占開発キューブ」を場に戻します。以降、他のプレイヤーも「独占開発キューブ」を使うことができるようになります。

④ もし手札に置けるゲームタイルがなくなった、もしくは置ける場所がなくなった場合は、独占開発は失敗となります。

失敗を宣言し、「独占開発キューブ」を場に戻します。

その上で、もし手札が3枚ある場合は、いずれか1枚を捨てます。

以降、他のプレイヤーも「独占開発キューブ」を使うことができるようになります。

- 6 -

終了条件

以下の条件をいずれか1つでも満たすとゲーム終了です。

① タイル山札およびプレイヤー全員の手札が全てなくなったらとき

② どのプレイヤーも自分の手札を置くことができない状態になったとき

ゲームが終了した瞬間、得点がもっとも高いプレイヤーが勝者となります。同点プレイヤーが複数いた場合はそのプレイヤー同士が引き分けで勝者となります。

子ども向けルール

9歳以下の子ども向けのルールです。

プレイ時間が短く、点数計算が簡単になり、運の要素が強くなります。

① はじめに配る手札は2枚ではなく1枚だけです。

② 路線が完成したときの得点は、路線の両端の駅に書かれている数字を合計したものに、路線区間の中にある○の数を（掛けるのではなく）足したものがその路線区間の点数となります。



この路線区間は赤色の路線が繋がっているので、駅の合計点3点、○の数が3個で $3 + 3 = 6$ 点になります。

③ 独占開発はありません。

④ 誰か一人でも、得点が30点以上になったら、めくっていないゲームタイルがまだ残っていてもそのプレイヤーの勝利でゲーム終了となります。

クレジット

ゲームデザイン／
デザインワーク：ヨシイケシンイチ
製作・著作：ジェミニゲームズ

©2018-2019 Shinichi Yoshiike / Gemini Games



Twitter : @yoppy_never
yoppy@neverlanders.net

- 7 -